

シンフォニー

第 43 号
年3回発行(1月・5月・9月)

発行/医療法人社団協会 彩の国東大宮メディカルセンター 編集/広報委員会

〒331-8577 埼玉県さいたま市北区土呂町1522 TEL.048-665-6111 FAX.048-665-6112 <https://www.shmc.jp>

特集

Feature Articles

地域医療の中核となる 「地域医療支援病院」を 目指して

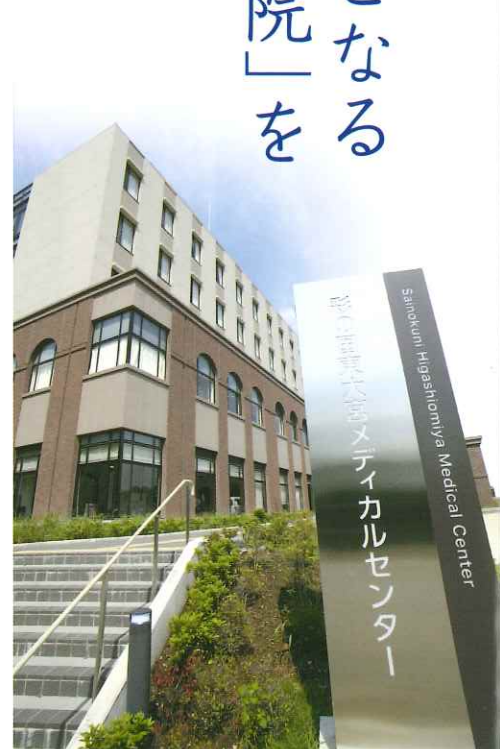
整形外科 副院長
岡田 恒作



2017年9月より副院長を拝命しております整形外科の岡田と申します。主に地域連携を担当しております。

近年、「2025年問題」が話題にのぼる機会が多くなってきておりますが、これは我が国のいわゆる団塊の世代が、全て75歳以上の後期高齢者となり、人口の18%を占め、さらに60歳以上が30%となることで発生する様々な問題を指します。

超高齢化社会となるため医療業界にも多くの問題が生じてきます。現在、国内の入院患者数は130万人/日ですが、2025年にはその数が160万人/日へ増えるため、病床数の不足が危惧されます。このため医療の機能分化と機能強化を行い、平均在院日数も減らす工夫など、病院業務の改善と効率化が求められています。医療は介護へと移り、医療自



体も病院から地域へと転換して行くことが必要になります。そのため、今までのような「病院完結型」ではなく「地域完結型」に治療を移行していかねばなりません。

当院でもこの対策を始めており、一つは在宅に向けて回復期リハビリテーション病院と連携をとり、在宅後は地域の医療機関(かかりつけ医)に受診できるように地域連携室が介入することです。もちろん、病状が悪化し入院治療が必要であれば、入院加療を行い病状安定に努めさせて頂きます。

もう一つは、地域に密着した治療を行っていくにあたり、都道府県から「地域医療支援病院」の承認を得るという目標を掲げています。「地域医療支援病院」とは、地域の医療機関(かかりつけ医)との役割分担と連携を図り、地域医療全体の充実を図ることを目的とした制度となります。「地域医療支援病院」としての能力を備え、設備や診療機能に一定の要件を満たした地域医療の中核となる病院として承認されるわけです。

病院移転から4年が経ちますが、こうした機能をさらに充実させ、より良い医療が提供できるように今後も努めて参ります。何卒宜しくお願い致します。

耳鼻咽喉科



耳鼻咽喉科 部長
肥田 修

2019年4月より当院に赴任し、耳鼻咽喉科部長を拝命致しました。よろしくお願い致します。

当科はこれまで非常勤医師による、咽頭処置や耳管通気といった処置を中心とした外来診療のみを行っておりました。2019年4月から、私が常勤医師となりましたので、入院・手術などに対応できる科を目指します。当科の新たな取組みについてご説明致します。



1 慢性副鼻腔炎・ちくのう症の手術治療

副鼻腔の排泄スペースが狭いなど構造的な問題が原因となり、お薬などではよくなりならず、悪化の一途をたどることがあります。

内視鏡下鼻内手術は鼻の穴から内視鏡を挿入して、病変を除去し、鼻の中の狭い小部屋を広く開放してスッキリとした広い空間とします。全身麻酔を用い、入院期間は約1週間です。

2 鼻中隔彎曲症の手術治療

1年中の鼻づまりの場合、鼻の左右を隔てている中隔が曲がってしまっていることがよくあります。鼻の中を切開して、曲がっている軟骨を取り除きますので傷は表面からは見えません。術後は鼻の通りが良くなります。全身麻酔を用い、入院期間は約1週間です。

3 アレルギー性鼻炎・花粉症

アレルギー性鼻炎のお薬は年々進歩しており、効き目がありながら、眠くなりにくくなっております。しかし、これらは鼻水などを抑えるのみで、アレルギー自体が治っているわけではありません。当科ではお薬の処方だけでなく次の治療も行います。

1 舌下免疫療法

スギ花粉のエキスを舌の下にいれることにより、過剰なアレルギー反応をしない身体にする治療です。喘息などがひどい場合にはできないこともあります。治療すると、花粉症のお薬を飲む必要がなくなる方も多いです。

2 アレルギーのレーザー治療

鼻の中のアレルギー反応を起こしている場所にレーザーを照射し、粘膜を変性させて、反応しにくくします。局所麻酔を用いて5分程度で治療できます。痛みもほとんどありません。スギ花粉症であれば、秋〜冬に施行されることをおすすめします。

4 声帯ポリープ

声帯は高速振動体ですので全身麻酔で声帯が止まった状態で手術します。入院期間は3日間程度です。「声が良くなった！」という、満足度の高い治療です。



5 慢性扁桃炎の手術

何度も扁桃炎を繰り返しますと、扁桃自体が感染の原因となりますので扁桃自体を摘出します。入院期間は約1週間です。

6 耳科めまいの入院加療

メニエール病や前庭神経炎などで食事もできないような場合に入院治療を行います。



7 その他

突発性難聴、顔面神経麻痺などは発症から数日以内の早期治療が大切です。症状により必要な場合には入院治療を行いますのでご相談ください。

形成外科
皮膚科



形成外科・皮膚科
南 史歩

2019年4月より当院で新しく形成外科、皮膚科診療を担当させて頂くことになりました。主に形成外科について質問形式で紹介させて頂きます。

形成外科とはどんな科？



形成外科が日本で立ち上がったのは1956年と、現在ある診療科の中でも最も歴史が浅い科の一つです。最初は、皆様になじみのある皮膚科、外科、整形外科、耳鼻科、眼科、口腔外科の先生方を中心に結成され、徐々に形成外科として独立するようになってきました。

形成外科では、先ほど述べた診療科に関わる疾患のうち、特に体の表面にある疾患の治療に特化して担当しています。次にあげるような病気による異常や変形を治したり、失った機能や体の一部を再建したりすることが主な診療内容となります。



当院形成外科では
どんな治療が出来るの？



- まぶたの形成(眼瞼下垂症、逆さまつげなど)
- 顔、鼻の骨折の整備
- 皮膚のできもの(ホクロ、粉瘤など)の切除
- ケガ、やけど、手術などによる変形、皮膚のひきつれ、キズあと(ケロイド、肥厚性瘢痕)の修復
- 巻き爪、陥入爪の治療
- やけどの治療
- 腋臭症(ワキガ)の手術療法
- 褥瘡(床ずれ)、難治性潰瘍の治療

現在は上記にあがる疾患の治療を中心に
行っています。



美容外科(美容整形)
とは違う？



形成外科が扱う分野はとても幅広く、美容外科はその中の一分野です。美容外科とは、普通の状態にある人をより美しくすることを目的とします。形成外科では、生まれつきの形態異常(唇顎口蓋裂、指趾の異常、耳の異常)や、ケガ、できものなどにより通常あるべき状態にはない人を、通常の外表形態に近づけることを主な目的としています。



傷跡は残りますか？



手術やケガをしてできた傷は、残念ながらゼロにするとは出来ません。形成外科ではなるべく目立たないキズあとになるような手術、治療を心がけて行っております。



最後に一言

形成外科は取り扱う疾患の範囲が非常に広い診療科です。体表に関わることであれば、まずは一度お気軽にご相談下さい。

特に眼瞼下垂症の手術治療を得意としております。最近目が開きにくくなった、肩こり、頭痛が辛いなどの症状がありましたら、それは眼瞼下垂症の症状かもしれませぬ。手術で改善できる病気で、日々の生活が楽になります。ぜひ一度診察を受けにいらして下さい。お待ちしております。

形成外科・皮膚科診療日のご案内

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	手術日 ○	○	○ 第2・4週のみ
午後	外来手術 ○	○	○	手術日	○	/

※南医師による診療は、火曜日・金曜日の予約制となります。

患者教室のご案内 (ミニセミナー)

9月のスケジュール

まだ暑い日がありますが、秋はもうすぐです。
季節の変わり目は、体調を崩しやすいので
十分な休息を心がけましょう

11日(水)「いこいの場」がんの患者さまとご家族さまのためのサロンです。
「医療費」について ※ミニレクチャーがあります。

19日(木)「胃腸炎とくすり」

24日(火)「糖尿病教室」～糖尿病と口腔ケア～

☆いつまでも自分の歯で食べることは重要なことです。
正しい歯のケアを学びましょう。

10月のスケジュール

読書の秋・運動の秋・食欲の秋、あなたはどの秋でしょうか?
楽しみが多い季節ですが、無理せず「適度」を心がけましょう。

17日(木)「正しい点眼薬の使い方」

☆眼薬の点し方、知っていますか?意外と知らないんです。
この機会に、正しい方法を学びましょう。

24日(木)「美味しく野菜を食べてお腹スッキリ!」～食物繊維の力で便秘改善～

29日(火)「糖尿病教室」～運動の工夫～

診療実績

(2019年4月～2019年7月平均)

入院稼働率 ……91.8%
1日平均入院患者数 ……309.5人
平均在院日数 ……15.2日
1日平均外来患者数 ……571.7人
救急搬送件数 ……534件/月
手術件数 ……241件/月
紹介患者数 ……840件/月

興味のあるセミナーに、
ご自由にご参加ください。

場 所

2階 エデュケーションセンター

時 間

13時～

交通案内図



JR
宇都宮線・湘南新宿ライン・上野東京ライン
「土呂駅」東口より 徒歩約11分

東武アーバンパークライン
「大宮公園駅」より 徒歩約9分

自動車
首都高速埼玉新都心線「さいたま見沼」ICより 約18分
東北自動車道「岩槻」ICより 約21分



9月に入り、暑さも落ち着いてきたとはいえ、残暑で体調管理には気を抜けません。この機会に健康状態を見直してみたいかたがでしょうか。10月はピンクリボン月間です。当院ではJ.M.S(ジャパンマンモグラフィーサンデー)プログラム登録医療機関として、多忙な平日を過ごしておられる女性の皆さまのために、10月20日、27日の両日曜日にも乳がん検査を行います。ぜひご利用ください。今後も皆さまの健康のために積極的に取り組んでまいります。 広報委員会/林